

6年

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
	適宜		扉の詩や目次・「道徳の時間」をもとに、道徳が何をどのように学んでいく時間であるかの見通しをもたせ、道徳の授業への期待感を高める。	★「道徳の時間」とは、何を学ぶ時間なのだろう。 ① 扉の詩を読み、感想を発表し合う。 ② 目次やP4-5の「道徳の時間」を読み、道徳の時間は、さまざまな学び方を通して自分を見つめ、よりよい生き方を探していく時間だということを確認する。		
四月から五月の学習のまとめ(自己を見つめる)	4月	【未来に向かって】 D (22) よりよく生きる喜び 1 まどさんからの手紙——こどもたちへ	まど・みちおさんが、子どもたちへ書いた手紙を通して、「まどさんからの手紙」が伝えていることを考えさせ、さまざまなことに全力で挑戦し、未来に向かって夢をもち、よりよく歩んでいこうとする心情を育てる。	★まどさんからの手紙は、あなたに何を伝えているだろう。 ① 自分の心に残っている手紙は、どんな手紙かを出し合う。 ② 「まどさんからの手紙——こどもたちへ」を読み、いちばん心に残ったのはどんなところかを、理由といっしょに発表する。 ③ 「りっぱなおとな」とは、どんな人だと思えるかを考える。 ④ まどさんからの手紙を読んで、がんばりたいな、挑戦してみたいな、楽しみたいなと思ったことを、手紙に書く。 ⑤ 「つなげよう」を読み、最高学年としてどんなことをがんばりたいか、考える。 ⑥ P38「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、「りっぱなおとな」の捉え方にはさまざまな考えがあるのだと気づき、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 これから自分ががんばりたいことや挑戦したいことを考え、伝えようとしている。	国語科
	4月	【大切な権利】 C (12) 規則の尊重 2 世界人権宣言から学ぼう	「世界人権宣言」を通して、そこから学ぶことは何かを考えさせ、自他の権利を大切にし尊重し合って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	★世界人権宣言を学ぼう。 ① 「人権」とはどういう意味か、調べる。 ② 「世界人権宣言から学ぼう」を読み、自分のクラスの「クラス人権宣言」を作るために、一つだけ世界人権宣言の条文を使うとしたら、何条を使いたいと思うか、またそれはなぜかを考え、発表する。 ③ 「人には、自由に意見を言う権利がある。だから人の悪口を言ってもいいんだ。」という人がいたとしたときに、その人に、世界人権宣言でいわれていることを使って反論を考える。 ④ 世界人権宣言の考え方を生かすために、自分がクラスの一員として、どんなことを大切に考えながら行動していきたいと思うか、話し合う。 ⑤ 「つなげよう」を読み、「世界人権宣言」の考え方を生かして、どう行動していけばよいかを考える。 ⑥ P38の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「権利」の捉え方が違う人に、別の観点で反論しようとすることで、物事には、幾つもの見方があるということに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自他の権利を守ることを大切にしながら行動していこうと考えている。	共生 法教育 社会参画に関する教育 社会科
	4月	【あきらめないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 3 自分を信じて——鈴木明子	体調を崩しながらも、諦めることなくスケートを続け、新たな技を成功させた鈴木明子さんの姿を通して、挫けそうになったとき自分を支えてくれるものは何かを考えさせ、苦しくても諦めず、努力して物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	★挫けそうになったとき、自分を支えてくれるものは何だろう。 ① 何かに挑戦していて挫けそうになったことがあるかを出し合う。 ② 「自分を信じて——鈴木明子」を読み、十代の後半に体調を崩した明子さんは、なぜスケートを諦めなかったのかを考える。 ③ 思わず、ガッツポーズが出たとき、明子さんはどんな気持ちだったかを考える。 ④ 挫けそうになったとき、自分を支えてくれるものは何かを考え、話し合う。 ⑤ 「つなげよう」を読み、何かに挑戦した人物に興味をもつ。 ⑥ P38「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、挫けそうになったときに支えてくれるものについては、人によって、さまざまな考えがあるのだということに気づき、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 より高い目標を立て努力し続けることは簡単ではないが、それを乗り越えることのすばらしさを理解し、自分の生き方に生かしたいと考えている。	キャリア教育 体育科 図書館活用

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
四月から五月の学習のまとめ(自己を見つめる)	5月	【個性を知って】 A (4) 個性の伸長 4 めくもり	友達の言葉から自分の長所に気づき、それを伸ばそうとする小春の姿を通して、自分の長所に気づき、長所を伸ばすことはなぜ大切かを考えさせ、自分自身の長所を見つけ、それを伸ばすことで本当の個性を育てていこうとする判断力や心情を育てる。	★自分のよいところを知ること、なぜ大切なのだろう。 ①自分のいいところはどこかを考える。 ②「めくもり」を読み、入学してから今まで、係を決めているとき、どうして小春は手を挙げるができなかったのかを考える。 ③朝の会で生き物係を決めるとき、小春はどうして手を挙げるができたのかを出し合う。 ④自分を見つめ、長所を伸ばすことはなぜ大切なのかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、自分の長所を書き出そうという意欲をもつ。 ⑥P38の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまでに、小春のように自分のよいところに気づいたことがあるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自分の長所を見つめ、その長所を自分なりに伸ばしていきたいと感じている。	特別活動(学級活動)
	5月	【節度を守って】 A (3) 節度、節制 5 なれなかったリレーの選手	ゲームをやりすぎて寝不足になってしまい、リレーの選手になれなかった「ぼく」の姿を通して、大切な場面で後悔しないためにも日頃から大切にしなければならないことは何かを考えさせ、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲と態度を育てる。	★後悔しないために、日ごろから大切にしなければならないのは、どんなことだろう。 ①いけないと分かっているのに、ついつい何かをやりすぎてしまった経験を出し合う。 ②「なれなかったリレーの選手」を読み、早く寝なくてはと思っていたのに、「ぼく」は、どうしてゲームがやめられなかったのかを考える。 ③自分で自分が許せなかった「ぼく」は、どんなことを考えていたのかを考える。 ④この話から、自分が学んだことは何かを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、日頃の自分の生活を振り返り、気をつけているところや改善したいこと、特に安全について気をつけていることを考える。 ⑥P38の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のやりたいままに行動し、節度を守れなかったことはないだろうか、これまでの生活を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 節度を守ることの大切さを自覚し、これからの生活で自分も節度を守っていききたいと考えている。	健康教育 体育科 特別活動(学校行事)
	5月	【真心をもって】 B (9) 礼儀 6 「すんまへん」でいい	大事な器を割ってしまった定やんが、どうやってお詫びしたらいいのかを悩む姿とおおじさんの言葉を通して、心のこもった礼儀とはどんなものかを考えさせ、相手を尊重し、礼儀正しく真心をもって接しようとする判断力や心情を育てる。	★心のこもった礼儀とは、どんなものだろう。 ①「ありがとう」「ごめんさい」という言葉は何のためにあるのか、出し合う。 ②『「すんまへん」でいい』を読み、器を割ってしまったなかにお店に入れなかった「私」を、自分は思うか、発表する。 ③「本当に、悪いことをした。私がいけなかった。」と思った「私」は、自分のどんなところが「いけなかった。」と考えたのかを出し合う。 ④『「すんまへん」でいい』という題名には、どのような意味が込められていると思うか、話し合う。 ⑤「つなげよう」を読み、心のこもった挨拶の意味を考える。 ⑥P38「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまで、周りの人に真心を込めて礼儀正しく接してきたかと振り返り、心のこもった礼儀とはどんなものかという自分なりの考えをもっている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞きながら、自分にはない見方や考えを知り、「真心のある礼儀」について自分の考えを深めている。	キャリア教育
<p>○「学習のまとめ」を振り返った評価(4~5月)</p> <p>ここまで学んだ、【D(22)よりよく生きる喜び】【C(12)規則の尊重】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【A(4)個性の伸長】【A(3)節度、節制】【B(9)礼儀】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。</p> <p>「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>						

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
六月から九月の学習のまとめ(他者との関わりを見つめる)	6月	【法やきまりを守って】 C (12) 規則の尊重 7 ここを走れば	危篤の祖父のもとへ向かうときでさえ交通規則を守る父親と、その姿を見つめる「ぼく」の姿を通して、人々のどんな考えが法やきまりを支えているのかを考えさせ、規則の意味を考え進んで守ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★法やきまりを支えているのは、人々のどんな考えだろう。 ①もし、交通規則がなかったらどうなってしまうかを想像する。 ②「ここを走れば」を読み、父が路側帯を走らなかったとき、「ぼく」はどう思ったかを考える。 ③「お父さんには、あんなことはできない」と厳しい表情で規則を守るお父さんの考えを、自分はどう思うかを出し合う。 ④父の涙を見ながら、「ぼく」はどんなことを考えていたかを発表する。 ⑤法やきまりは、人々のどんな考えによって支えられているのか、話し合う。 ⑥「つなげよう」を読んで、規則を守れなかったことがないかを振り返る。 ⑦P92の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまで、自分勝手な理由をつけて、きまりを守らないことはなかったかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 法やきまりの意義を理解したうえで、きまりを守っていきたいと考えている。	法教育 社会参画に関する教育
	6月	【自分の判断で】 A (1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 8 マイルール	電車やバスで、マイルールを決めて座席を他の人に譲ろうとするみっちゃんや、そのことに感心する「私」の姿を通して、自分で自分の行動を決めるとはどういうことかを考えさせ、自ら正しいと信じることを、自分の意志で判断し、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分で自分の行動を決めるとは、どういうことだろう。 ①日々の生活の中で、これだけはしようと決めていることを出し合う。 ②「マイルール」を読み、すっかり埋まった座席を眺めながらため息をついたとき、「私」は、どんなことを考えていたのかを考える。 ③「私」が、「みっちゃんが、私と同じ6年生とは思えない」のはどうしてかを考える。 ④「マイルール」を作ると、作った人の生活は、どのように変わるのかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、自分の「マイルール」を考える。 ⑥P92の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「マイルール」を作ると、作った人の生活がどのように変わるかと想像することで、自分の物の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自分がよいと考えたことは、積極的に行動に移していききたいと考えている。	共生 社会参画に関する教育
	6月	【自分の役割を果たす】 C (16) よりよい学校生活, 集団生活の充実 9 子ども会のキャンプ	子ども会のキャンプで、班長として自分の役割を果たそうとする明葉の姿を通して、自分の役割を果たすときにはどんな考えが大切なのかを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分の役割を果たすときには、どんな考えが大切なのだろう。 ①最高学年として、自分が果たしている役割にはどんなものがあるかを出し合う。 ②「子ども会のキャンプ」を読み、みんなに詰め寄せられたとき、明葉はどんな気持ちだったかを考える。 ③このキャンプは、なぜ明葉の心に残る思い出となったのかを考える。 ④役割を果たすときに大切なのは、どんな考えだと思うかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読み、今日の学びをどんなときに生かせるかを考える。 ⑥P92「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分の役割を自覚し、集団生活を充実させるような行動ができていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 集団の中での自分の役割を自覚し、その役割を果たすために大切なことを忘れず行動していこうと考えている。	社会参画に関する教育

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
六月から九月の学習のまとめ(他者との関わりを見つめる)	6月	【理解し合うために】 B (11) 相互理解, 寛容 10 みんな, おかしいよ!	友達への言い方がきつい真紀に本当のことが言えず, そのことで絵里子からは信用できないと言われ悩む和花の姿を通して, 相手と理解し合うためには, どんなことに気をつければよいのかを考えさせ, 自分とは違う考えや意見も広い心で受け止め, 相手の立場に立って考え適切に対処していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★相手と理解し合うためには, どんなことに気をつければよいのだろう。 ①友達とうまく理解し合えなかった経験について出し合う。 ②「みんな, おかしいよ!」を読み, 和花はどうして本当のことを言ったら友達が減ると思っているのかを考える。 ③真紀は, どうして絵里子に「ありがとう」と言ったのかを考える。 ④相手と理解し合うためには, どんなことに気をつければよいと思うか, 話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで, 理解し合うことはなぜ大切なのかを考える。 ⑥P92の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手の立場によって, 一つの物事でもさまざまな見方ができることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自分の考えを伝えることや, 広い心で異なる意見や立場を尊重することの大切さについて理解し, 自分のこれからの在り方について考えている。	いじめ問題 共生
	7月	自然と共に 【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 11 海のゆりかご ——アマモの再生	大好きなカキが, 岡山の漁師が海に種をまき, 30年もアマモ場の再生や清掃に取り組んできたことで守られている事実を知った桃子の姿を通して, 自然を大切にするためにできることは何かを考えさせ, 自然を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を大切にするためにできることは何だろう。 ①自然を大切にするためにはどうすればいいか, 「海のゆりかご——アマモの再生」と「命の旅」を通して考えていくことを知る。 ②「海のゆりかご——アマモの再生」を読み, 「私, 考えが足りなかったな。」と言ったとき, 桃子は, 自分にはどんな考えが足りなかったと思ったのかを考える。 ③桃子は, どうして自分に何ができるかを考え始めたのかを話し合う。 ④自分の身の周りにある自然を大切にしている活動にどんなものがあるかを出し合い, 自然を大切にするために自分にも何かできることはないかを考え, 交流する。 ⑤「つなげよう」を読み, 地域の自然を大切にしている活動に興味をもつ。 ⑥P92の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のこれまでの自然に対する考え方はどのようなものだったか, 振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自然環境を守るために, 自分にできることはないかと考えている。	共生 社会参画に関する教育 環境教育 理科 総合的な学習の時間
	7月	【命がつなぐもの】 D (19) 生命の尊さ 12 命の旅	北海道・知床の動物たちの生きる姿, 新しい命を残すために死んでいく姿, その命を食べるといふ人間の営みを通して, 「命の旅」の意味について考えさせ, 生命は多くの神秘に包まれながら, そのつながりの中にあるかけがえのないものであることを知り, 生命を尊重しようとする心情を育てる。	★「命の旅」とは, どんなことを表しているのだろう。 ①「海のゆりかご」で学んだことを思い出すとともに, 「命の旅」という題名の意味を考える。 ②「命の旅」を読んで, いちばん心に残ったのはどんなところか, 理由と一っしょに発表する。 ③「ありがとう。いただきます。」には, どんな思いが込められているかを考える。 ④「命の旅」とは, どんなものだと思うかを話し合う。 ⑤「持続可能な社会とは?」を読んで, 自分たちと自然との関わりについて考えを深める。 ⑥P92「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達の感想を聞き, 命についてのいろいろな捉え方を知ること, 自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自分は生命のつながりの中において, たくさんの命をいただいていることを忘れず, かけがえのない命を大切にしていきたいと感じている。	共生 環境教育 理科 社会科
			★コラム★ 『自然とともに』 持続可能な社会とは?			

月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
<p>○学期を振り返った評価(4~7月)</p> <p>ここまでで学んだ,【D(22)よりよく生きる喜び】【C(12)規則の尊重】【A(5)希望と勇気,努力と強い意志】【A(4)個性の伸長】【A(3)節度,節制】【B(9)礼儀】【C(12)規則の尊重】【A(1)善悪の判断,自律,自由と責任】【C(16)よりよい学校生活,集団生活の充実】【B(11)相互理解,寛容】【D(20)自然愛護】【D(19)生命の尊さ】に関わって,児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて,励ます評価をする。</p> <p>「学びの記録」にある児童の書き込みや,ここまでの発言の記録,ノート・ワークシート等を参照し,児童のものの見方が,一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか,道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>					
9月	<p>いじめを許さない心</p> <p>【友達だから】 B(10)友情,信頼</p> <p>13 コスモスの花</p>	<p>いつもは目立たない北山が,花を上手に生けたことで友達から称賛され,それを快く思えない「ぼく」の姿を通して,友達とはどんな存在なのかについて考えさせ,真の友情を育て,互いを尊重し合うよい関係を築いていこうとする判断力や心情を育てる。</p>	<p>★友達とは,どんな存在なのだろう。</p> <p>①友達とよりよい関係を築くにはどうすればよいか,「コスモスの花」と「泣き虫」を通して考えていくことを知る。</p> <p>②「コスモスの花」を読み,「ぼく」が北山に初めて抱いた「北山なんて——。」という気持ちにはどんな思いがこもっているかを考える。</p> <p>③「ぼく」は,どうして「やめろよ——。」と言ったのかを考える。</p> <p>④友達とは,どんな存在なのかを話し合う。</p> <p>⑤「つなげよう」を読み,友情について描かれた本があることを知る。</p> <p>⑥P92「学びの記録」に記入する。</p>	<p>【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】</p> <p>「友達とはどのような存在か」について,さまざまな意見を聞き,自分の見方を広げている。</p> <p>【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】</p> <p>友達とはどのような存在なのかについて自分なりの考えをもち,友達とよりよい関係を築いていきたいと考えている。</p>	<p>いじめ問題 図書館活用</p>
9月	<p>【だれにでも公正・公平な心で】</p> <p>C(13)公正,公平,社会正義</p> <p>14 泣き虫</p>	<p>いじめっ子のトオルくん,いじめられっ子の藤井くん,それを止めることもないクラスのみんなの姿と,それを「ひきょうだ」と涙を流して訴える勇気くんの姿を通して,誰にでも公正で公平な態度でいるために必要なのはどんな気持ちかを考えさせ,自他の不公正を許さない断固とした姿勢をもって身近な差別や偏見に向き合い,正義の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。</p>	<p>★だれにでも公正で公平な態度でいるために必要なのは,どんな気持ちだろう。</p> <p>①「コスモスの花」で学んだことを思い出すとともに,自分は,誰にでも公平・公正にできているかを考える。</p> <p>②「泣き虫」を読み,勇気くんに「みんな,みんな,ひきょう者だ!」と言われたとき,「私」はどんなことを思ったかを考える。</p> <p>③「全く,勇気くんは変な子です。全く,勇気くんはすてきです。」という言葉には,「私」のどんな思いが込められているかを考える。</p> <p>④誰にでも公正で公平な態度でいるために必要なのは,どんな気持ちか,話し合う。</p> <p>⑤「いじめについて考え続けよう」を読む。</p> <p>⑥P92「学びの記録」に記入する。</p>	<p>【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】</p> <p>これまで,自分は誰に対しても公正・公平な態度で接してきたかと,自分を見つめている。</p> <p>【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】</p> <p>誰もが気持ちよく生活できるよう公正・公平な態度でいるために,これからの自分にできることは何かと考えている。</p>	<p>いじめ問題 共生</p>
<p>★コラム『いじめを許さない心』いじめについて考え続けよう</p>					<p>いじめ問題 共生 特別活動(学級活動)</p>

六月から九月の学習のまとめ(他者との関わりを見つめる)

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくリナ評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
六月から九月の学習のまとめ(他者との関わりを見つめる)	9月	【相手を思いやって】 B (7) 親切, 思いやり 15 今度は、ぼくの番	病気と闘う木原先生のために、何かできることはないかと考え、はがきを書くことを決めた「ぼく」の姿を通して、相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考え、相手の立場に立って親切にしようとする判断力や心情を育てる。	★相手を思う心は、どのような行動で示せるだろう。 ①最近、自分が相手を思いやって取った行動を出し合う。 ②「今度は、ぼくの番」を読み、「ぼく」の胸はどうしてドキドキと音を立てたのかを考える。 ③「今度は、ぼくの番です。」と言ったとき、「ぼく」は、どんなことを思っていたのかを考える。 ④「思いやり」とは、どんなものだと思うか考え、話し合う。 ⑤「つなげよう」を読み、思いやりや親切について考えられる本があることを知る。 ⑥ P92 「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで自分は、独りよがりな親切をこななかったか、相手のことを考えて思いやることができていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 相手の立場に立って親切にすることとはどういうことなのかを考え、思いやりの心をもって行動をしていきたいと感じている。	図書館活用
	9月	【よりよい学校をみざして】 C (16) よりよい学校生活, 集団生活の充実 16 六年生の責任って？	「最高学年としてできること」について、学級活動で話し合いをする中で、さまざまな意見や考えに触れ、何が6年生としての責任なのか悩む「ぼく」の姿を通して、よりよい学校にしていくための6年生の責任とはどのようなものかを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする判断力や心情を育てる。	★よりよい学校にしていくために、6年生として、どんなことができるだろう。 ①6年生として、下級生や先生から頼りにされていると思うことを出し合う。 ②「六年生の責任って？」を読み、「ぼく」の意見を受けて、6年生が見回って片づけをしたら、学校はどうか、また、横山さんの意見を受けて、6年生も美化委員も片づけなかったら学校はどうか、考える。 ③自分のクラスで、この話し合いの続きをする。 ④6年生の責任とは、どのようなものかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、よりよい学校をみざして、自分にどんなことができるかを考える。 ⑥ P92 「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 役割や責任を果たすことについてさまざまな考え方があつたことを知り、友達の意見のよいところに気づき、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 6年生として、これからの学校をよりよくしていくために、自分にどんなことができるかを考え、将来の集団生活にも生かしたいと意欲をもっている。	共生 社会参画に関する教育 特別活動(学級活動) 特別活動(児童会活動)
<p>○「学習のまとめ」を振り返った評価(6~9月)</p> <p>ここまで学んだ、【C (12) 規則の尊重】【A (1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任】【C (16) よりよい学校生活, 集団生活の充実】【B (11) 相互理解, 寛容】【D (20) 自然愛護】【D (19) 生命の尊さ】【B (10) 友情, 信頼】【C (13) 公正, 公平, 社会正義】【B (7) 親切, 思いやり】【C (16) よりよい学校生活, 集団生活の充実】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものが見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>						
十月から十二月の学習のまとめ(成長する自己と向き合う)	10月	【真の姿を求めて】 A (6) 真理の探究 17 日本植物分類学の父——牧野富太郎	植物の研究に邁進し、常に探求心をもち粘り強く観察を続ける富太郎と、その生涯の功績を通して、人はなぜ物事を探求しようとするのかを考えさせ、真理を大切に物事を探究しようとする実践意欲や態度を育てる。	★人は、なぜ、物事を探究しようとするのだろう。 ①何かを知りたくてたまらないと思ったことはないか、出し合う。 ②「日本植物分類学の父——牧野富太郎」を読み、初めて東京に出かけたとき、富太郎はどんなことを考えたかを出し合う。 ③富太郎は、どうして1500以上の植物に名前をつけることができたのかを考え、話し合う。 ④「つなげよう」を読み、真実を求めた人のことが書かれた本に興味をもつ。 ⑤ P150 「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまでに、何かを知りたいという思いで物事をやり遂げたことがあつたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 真理を求めて探究することの意義について考え、自分も物事を探求する心をもちたいと考えている。	理科 図書館活用

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
十月から十一月の学習のまとめ(成長する自己と向き合う)	10月	【志をもって】 A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志 18 小川笙船	貧しい人々の命を救うために、小石川養生所をつくり、若い医者育てながら手厚く貧しい病人をみ続けた小川笙船の姿を通して、何かをやり遂げようとするときに、いちばん必要なのはどんな心か考えさせ、強い意志をもち、困難があっても挫けずに努力して物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	★小川笙船は、どんな生き方をした医者だったのだろう。 ①何かをやり遂げるのに必要なのはどんな心か、これまでの自分を振り返り、考える。 ②「小川笙船」を読み、定吉の目からあふれる涙を見て、笙船がどんなことを思ったかを考える。 ③何百人もの患者であふれかえる養生所を取り仕切りながら、笙船はどんなことを考えていたかを考える。 ④養生所にみんなの笑顔と拍手の音が広がったとき、笙船はどんな思いだったかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読み、「自分を信じて——鈴木明子」で学んだことと、どんなところが共通しているかを考える。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 小川笙船の生き方や信念について、多様な感じ方があることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 強い意志をもって何かをやり遂げるためにはどんなことが必要かを考え、これからの自分の生き方に生かそうとしている。	キャリア教育 福祉に関する教育
	10月	【働く喜び】 C (14) 勤労, 公共の精神 19 「働く」ってどういうこと?	さまざまな職業に就く人々の姿を描いた1枚の絵や、働く人のエピソードとアンケート調査結果を通して、人は何のために働くのかを考えさせ、働くことの意義を理解し、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	★人は、何のために働くのだろう。 ①大人になったとき、自分はどんなことを大切に考えて、職業を選ぶと思うか、予想する。 ②P102・103のイラストを見て、どんなところで、どんな人が働いているか、発表する。 ③資料1・2を読み、二人の仕事に対する思いの共通点を見つける。 ④人は何のために働くのか、資料1・2や資料3を基に話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、身近な人の仕事を選んだ理由や、やりがいについて興味をもつ。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 働くことを巡って、人にはさまざまな思いがあることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 将来、自分は職業を選ぶときに何を大切にしたらよいか、どんなことにやりがいを感じるのかと想像している。	キャリア教育 社会科
	10月	【郷土を大切に】 C (17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 20 ようこそ、菅島へ!	島を訪れる人に、島のよさをもっと伝えたいと思う純平の姿を通して、郷土を大切にしたい心となるのは、どんな思いかを考えさせ、長い歴史を通じて培われ、受け継がれてきた郷土の伝統と文化を大切にしたい心となるのは、どんな思いかを話し合う。	★郷土を大切にしたい心となるのは、どんな思いだろうか。 ①自分たちが住んでいる地域の自慢について出し合う。 ②「ようこそ、菅島へ!」を読み、純平はどんなことを考えながらガイドをしているのかを考える。 ③純平は、どうして島の伝えたいことが後から後からあふれてきたのかを考え、郷土を大切にしたい心となるのは、どんな思いかを話し合う。 ④自分の生まれたところや住んでいるところに対して、どんな思いをもっているかを出し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、自分の住んでいる地域のキャッチコピーを作ることに興味をもつ。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生まれ育ってきた郷土とその伝統や文化のよさを、自分は何のくらい理解しているのだろうか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 郷土とその伝統や文化を受け継ぐ担い手として、自分にもできることはないかと考えている。	伝統文化教育 特別活動(児童会活動) 総合的な学習の時間
			なんだろう なんだろう 関連する内容項目 A (1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A (4) 個性の伸長 D (22) よりよく生きる喜び		家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろうなんだろう」を読み、「自分」とは何なのか、考えてみる。	

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
十月から十一月の学習のまとめ(成長する自己と向き合う)	11月	【友達を信じるとは】 B (10) 友情, 信頼 2 1 ロレンゾの友達	幼なじみのロレンゾに電報で呼び出された3人が、ロレンゾの悪いわさを聞き、どうするか悩む姿を通して、友達を信じるとはということかを考えさせ、互いに信頼し助け合って、よりよい人間関係を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★友達を信じるとは、どういうことだろう。 ①友達になら、どんなことでも話せるか、考える。 ②「ロレンゾの友達」を読み、アンドレ、サバイユ、ニコライに共通する、ロレンゾに対する思いとはどんなものかを考える。 ③アンドレ、サバイユ、ニコライの3人は、なぜ、かしの木の下で話し合ったことをロレンゾに言わなかったのかを話し合い、友達を信じるとはということか、考える。 ④友達とは、どんな存在かを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読み、「コスモスの花」で考えたことを思い出す。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「友達」とはどのような存在なのか、さまざまな考えがあることを知り、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとって、友達とはどのような存在か考え、信頼し合える友情を築いていきたいと考えている。	
	11月	【自分の心に誠実に】 A (2) 正直, 誠実 2 2 手品師	大舞台での活躍よりも幼い子どもと交わした約束を守ることを選んだ手品師の姿を通して、「誠実に生きる」とはどういうことかを考えさせ、自分の心に誠実に向き合い、誇りをもって生きようとする判断力や心情を育てる。	★「誠実に生きる」とは、どういうことだろう。 ①誰かと約束したのに守れなかったことはあるかを出し合う。 ②「手品師」を読み、友人の「いい話」を聞きながら、手品師はどんなことを思っていたかを考える。 ③手品師は、どんな思いから、たった一人のお客様の前で手品をするを選んだのか、考える。 ④「誠実に生きる」とは、どんな生き方かを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、誠実さはなぜ大切なかを考える。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、さまざまな「誠実に生きる」ことについての考えに触れ、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 「誠実に生きる」とはということかを考え、自分のこれからの在り方について考えている。	
	11月	【広い心で】 B (11) 相互理解, 寛容 2 3 どうすればいいの？	由希の言動に振り回されていると知った朝実と「私」が、次は由希を無視するようになるが、寂しそうにしている由希を見て悩む「私」の姿を通して、「広い心」とはどんな心かを考えさせ、広い心で相手の過ちを許し、自分と同じように他者を尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	★「広い心」とは、どんな心だろう。 ①友達を「許せないな。」と思ってしまったことはあるか、事前アンケートの結果を知る。 ②朝実から、「由希を無視しようよ。」と言われたとき、「私」はどんなことを考えたかを考える。 ③「私」の「どうすればいいのだろう。」という悩みに、自分なら何と答えてあげようかを考える。 ④もし「私」が由希に声をかけたら、どんなことを話すとするかを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、「みんな、おかしいよ！」を読んで考えたことを思い出す。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「私」や由希に対して、どんな言葉をかけるかについての友達の考えを知り、自分のものの見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 広い心で相手に接し、相手の立場や気持ちを理解することは簡単ではないが、そういった「広い心」をもちたいと考えている。	いじめ問題 共生
	11月	【心の美しさ】 D (21) 感動, 畏敬の念 2 4 マザー=テレサ	貧しさに苦しみ、道端で死を待つしかない人々のために「死を待つ人の家」をつくり、一人一人に慈愛の手を差し伸べ続けたマザー=テレサの姿を通して、マザー=テレサの生き方を考えさせ、人間のもつ心の崇高さや偉大さ、美しいものや気高いものに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	★マザー=テレサの生き方から、私たちは何を感じるだろう。 ①「マザー=テレサ」について知っていることを出し合う。 ②「マザー=テレサ」を読み、どんなところに心を動かされたかを発表し合う。 ③マザー=テレサは、なぜ、死にゆく人々の手を握り続けたのかを考える。 ④「つなげよう」を読んで、何かに心を動かされたときには、その思いをノートに書き込むことに意欲をもつ。 ⑤P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 マザー=テレサの行動やそれを支える信念について、さまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 マザー=テレサの生き方に触れ、心が動いたことをもとに、自己の生き方への思いや願いを深いところから見つめ直そうとしている。	共生 社会参画に関する教育 福祉に関する教育 社会科

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
十月から十一月の学習のまとめ(成長する自己と向き合う)	12月	【つながる命】 D (19) 生命の尊さ 25 命のつながり	父・母から受け継いだ命、そして、命は38億年も前からつながってきているということを通して、「命」は、誰のものなのかを考えさせ、つながりの中にあるかけがえのない命を大切にしようとする判断力や心情を育てる。	★「命」は、だれのものだろう。 ①「命のつながり」という言葉から、どんなつながりがあるのかを想像する。 ②「命のつながり」を読んで、いちばん心に残ったのはどんなところか、理由といっしょに発表する。 ③筆者は、どうして「命はあなただけのものではない」と言っているのかを話し合う。 ④筆者の「命はあなただけのものではない」という考え方について、自分はどう思うかを発表する。 ⑤「つなげよう」を読んで、「命の旅」で考えたことを思い出す。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命は全ての生きものとのつながっていること、生命の神秘さ、一人一人がたった一つのかけがえのない存在であることなど、命をさまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「命のつながり」とはどんなものかを、自分の経験や知識との関わりの中で考え、自分の命を見つめ直している。	理科
	12月	世界とつながる 【感謝の心を伝えるために】 B (8) 感謝 26 五十五年目の恩返し	何千人ものユダヤ人の命を助けた杉原千畝と神戸の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、阪神・淡路大震災の後、55年前の恩返しとして援助を申し出たユダヤ人やその子孫たちの気持ちを通して、感謝の心を伝えるときに大切なことは何かを考えさせ、日々の生活が、多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、感謝の心をもつとともに、自分にできることを考え真心を込めてそれに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	★「五十五年目の恩返し」に込められた思いとは、どんなものだろう。 ①他国の人々と助け合って生きていくためには、どんな考え方や行動が必要か、「五十五年目の恩返し」と「ブータンに日本の農業を」を通して考えていくことを知る。 ②最近、感謝の気持ちをもった経験を出し合う。 ③「五十五年目の恩返し」を読み、ユダヤ人たちは、どのような思いから神戸への援助を申し出たのかを考える。 ④まことは、ユダヤ人たちの感謝の気持ちを知り、どんなことを思ったのかを考え、感謝の心を伝えるときに大切なことは何かを話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、社会科で学習したことを思い出したり、恩返しについて考えたりする。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日々の生活の中で、自分を支えてくれる人やものがあることに気づき、深い感謝の気持ちをもっている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 多くの人々の支えがあって今の自分があることに気づき、自分は周囲の人たちの善意にどう応えたらよいかを考え、行動していきたいと思っている。	共生 国際理解教育 社会科
	12月	【他国の人々のためにできることを】 C (18) 国際理解、国際親善 27 ブータンに日本の農業を	ブータンの生活に溶け込み、ブータンの人たちの立場に立って農業指導を続けた西岡京治さんの姿を通して、他国の人々と理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、他国の人々や文化について理解し、他国の人たちの立場に立って交流活動を進め、より親しくしていこうとする判断力や心情を育てる。	★他国の人々と理解し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 ①「五十五年目の恩返し」で学んだことを思い出すとともに、国際親善という言葉について知る。 ②「ブータンに日本の農業を」を読み、西岡さんは、どうしてブータンに農業の技術指導に行くことを決めたのかを考える。 ③西岡さんの農業指導が、ブータンの人々に受け入れられたのは、西岡さんが、どんな考えをもっていたからか考える。 ④他国の人々と理解し合うためには、どんなことが大切か、話し合う。 ⑤「国際親善——私たちにできること」を読んで、他国の人と助け合いながら生きていくことについて考えを深める。 ⑥P150「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 国際交流・国際親善で大切なことは何かを友達と話し合うことで、他国の人と理解し合うために自分はどうしていきたいかという考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 西岡京治さんの生き方を知り、他国の人たちと理解し合い、助け合いながら生きていきたいと願っている。	共生 国際理解教育
			★コラム『世界とつながる』国際親善——私たちにできること			

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
十月から十二月の学習のまとめ(成長する自己と向き合う)	<p>○「学習のまとめ」を振り返った評価(10～12月)</p> <p>ここまでで学んだ、【A(6) 真理の探究】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C(14) 勤労、公共の精神】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【B(10) 友情、信頼】【A(2) 正直、誠実】【B(11) 相互理解、寛容】【D(21) 感動、畏敬の念】【D(19) 生命の尊さ】【B(8) 感謝】【C(18) 国際理解、国際親善】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>					
	<p>○学期を振り返った評価(9～12月)</p> <p>ここまでで学んだ、【B(10) 友情、信頼】【C(13) 公正、公平、社会正義】【B(7) 親切、思いやり】【C(16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A(6) 真理の探究】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C(14) 勤労、公共の精神】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【B(10) 友情、信頼】【A(2) 正直、誠実】【B(11) 相互理解、寛容】【D(21) 感動、畏敬の念】【D(19) 生命の尊さ】【B(8) 感謝】【C(18) 国際理解、国際親善】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>					
一月から三月の学習のまとめ(より広く人や社会との関わりについて考える)	1月	<p>情報と向き合う</p> <p>【責任を自覚して】 A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任</p> <p>28 気に入らなかった写真</p>	<p>友達と遊びに行ったときの写真をインターネット上に投稿し、そこに写っている友達から削除を求められ悩む「お姉さん」の姿を通して、インターネットを利用するときには、どのような責任が伴うのかを考えさせ、他者の権利を守ることを大切に、責任ある行動を取ろうとする判断力や心情を育てる。</p>	<p>★インターネットを利用するときには、どのような責任がともなうのだろうか。</p> <p>①スマートフォンや通信機能付きゲーム機を使ったことがあるか、出し合う。</p> <p>②お姉さんは、どんな考えで写真を投稿したかを考える。</p> <p>③お姉さんは、写真を投稿する前に、どんなことを考えなければならなかったのかを話し合う。</p> <p>④この教材から学んだことを発表する。</p> <p>⑤「インターネット上の権利」を読んで、情報の扱い方について考えを深める。</p> <p>⑥P198「学びの記録」に記入する。</p>	<p>【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どう行動すればよいのか迷う場面で、これまで自分はどう自分の責任を考えてきたかを振り返っている。</p> <p>【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 インターネット上の責任からさらに場面を広げて、どんなときにも、自分は責任ある行動を取っていききたいと感じている。</p>	情報モラル
	★コラム『情報と向き合う』インターネット上の権利					
1月	<p>共に生きる</p> <p>【差別のない世界を求めて】 C(13) 公正、公平、社会正義</p> <p>29 私には夢がある</p>	<p>差別されることなく、自由に生きる権利を求め続けたマーティンの姿を通して、「マーティンの夢」を実現するために、現代を生きる私たちはどのような考えや行動をしていけばよいかを考えさせ、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正・公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする判断力や心情を育てる。</p>	<p>★マーティンの目ざす世界を実現するためには、どんな考えが大切なだろう。</p> <p>①差別のない世界を実現するためにはどんな考え方が必要か、「私には夢がある」と「エルトゥール号——友好の始まり」を通して、考えていくことを知る。</p> <p>②「マーティンの夢」とは、どんなものかを考える。</p> <p>③世界の至る所に、まだまだ差別が存在していることから、「マーティンの夢」を実現するために、現代を生きる私たちはどのような考えや行動をしていけばよいと思うか、話し合う。</p> <p>④「つなげよう」を読んで、「私には夢がある」の学びと「泣き虫」で学んだことが、どんなところでつながっているかを考えてみる。</p> <p>⑤P198「学びの記録」に記入する。</p>	<p>【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は誰に対しても差別や偏見をもつことなく公正・公平に接することができているかと、自分を見つめている。</p> <p>【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 差別やいじめのないクラスや社会にするために、自分には何ができるかを考えている。</p>	<p>共生 法教育 国際理解教育 社会参画に関する教育 社会科</p>	

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や 他教科・領域との関わり	
一月から三月の学習のまとめ(より広く人や社会との関わりについて考える)	1月	【他国の人々と助け合いながら】 C (18) 国際理解, 国際親善 30 エルトゥールル号 ——友好の始まり	1890年に起きたトルコ船「エルトゥールル号」の沈没事故のときに、必死で船員たちの命を助けた村人たちの姿と、今でも慰霊祭を行ったり、慰霊碑で清掃活動を行ったりしてトルコとの関係を大事にしている人々の姿を通して、他国の人々と支え合いながら生きていくために大切なことは何かを考えさせ、他国の伝統や文化、人々についての理解を深め、国際親善に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	★他国の人々と支え合いながら生きていくために、大切なことは何だろう。 ①「私には夢がある」で学んだことを思い出すとともに、他国の人と交流した経験を出し合う。 ②村人たちは、なぜ、自分たちの大切な食料を差し出してまで、エルトゥールル号の乗組員たちを助けたのかを考える。 ③「二つの国のきずな」とは、どのようなきずなのかを考える。 ④広子は海を見つめながら、どんなことを考えていたか、話し合う。 ⑤「差別のない社会をみざす」を読んで、差別のない社会を実現するために大切な考え方について、考えを深める。 ⑥P198「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 今まで自分は他国の人々と接するときどのような気持ちで接していたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 他国の人々ときずなをつくっていくためには何が大切なのか、自分にも何かできることはないかと考えている。	共生 国際理解教育 社会科	
		★コラム『共に生きる』差別のない社会をみざす					共生 国際理解教育 社会科
	2月	【かけがえのない命】 D (19) 生命の尊さ 31 おじいちゃんとの約束	祖父の死をきっかけに、命の意味を深く考えるようになった信二の姿を通して、精いっぱい生きるとはどう生きることかを考えさせ、かけがえのない命を、自分らしく精いっぱい生きようとする心情を育てる。	★命の重みについて考えよう。 ①「死」という言葉の重さについて考えたことがあるか、出し合う。 ②「おじいちゃんとの約束」を読み、テレビを切った後の信二の「いかり」と「なみだ」は、何だったのかを考える。 ③信二は「おじいちゃんとの約束」を、どんなふうにも果たそうとしているか考える。 ④「精いっぱい生きる」とは、どう生きることなのか、話し合う。 ⑤「命の旅」「命のつながり」で学習してきたことを思い出す。 ⑥P198「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「精いっぱい生きる」ことに対するさまざまな考えを知り、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 命について深く考え、他人と比べるのではなく、自分らしく精いっぱい生きることについて考えている。		
2月	【その人のために】 B (7) 親切, 思いやり 32 最後のおくり物	貧しくて養成所に通うことができないロベーナに、密かにお金を送り続けるジョルジュじいさんと、体を壊したジョルジュじいさんを付ききりで看病し、ジョルジュじいさんの気持ちを思い涙を流すロベーナの姿を通して、心からの思いやりや親切とは、どんなものかを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考え、思いやりの心で行動しようとする判断力や心情を育てる。	★心からの思いやりや親切とは、どんなものだろう。 ①誰かが自分に示してくれた行動で、うれしかったことを出し合う。 ②「最後のおくり物」を読み、「せつかくここまで来たのに——。」と唇を噛んだとき、ロベーナはどんなことを思っていたか考える。 ③「ちっとも苦しくはなかったよ——、幸せを感じたくらいだ。」と言うジョルジュじいさんの言葉を聞いたとき、ロベーナはどんなことを考えていたか考える。 ④ロベーナが、おじいさんからもらった「最後のおくり物」とはどんなものか、話し合う。 ⑤「つなげよう」を読んで、「今度は、ぼくの番」で学んだことを思い出す。 ⑥P198「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 思いやりや親切を受けたとき、自分はどんな思いだったか、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 誰に対しても相手の立場をよく考え、思いやりをもって行動しようと考えている。	キャリア教育		

	月	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動	「大きくりな評価」のために	現代的な課題や他教科・領域との関わり
一月から三月の学習のまとめ(より広く人や社会との関わりについて考える)	2月	【家族に対する思い】 C (15) 家族愛, 家庭生活の充実 3 3 ぼくの名前呼んで	両親が共に聴覚障害者であり、「一度も名前を呼ばれたことがないだろう。」と言われ、父親に思いをぶつける太郎と、そんな太郎に気持ちを伝える父親の姿を通して、「ぼくの名前呼んで」に描かれている家族が何を教えてくれているかを考えさせ、家族のきずなを大切に、互いに信頼し合い、家族の幸せを求めて進んで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	★「ぼくの名前呼んで」に描かれている家族は、あなたに何を教えてくれるだろう。 ① 家族に対して、いつもどんな思いをもっているかを出し合う。 ② 「ぼくの名前呼んで」を読み、太郎がどんな気持ちで「ぼくの名前呼んで。」と言ったのかを考える。 ③ 父の手話から両親の思いを知った太郎が、どんな気持ちになったか考える。 ④ 「ぼくの名前呼んで」を読んで、家族について考える。 ⑤ 「つなげよう」を読んで、家族の一員として自分にできることはないか、考えてみる。 ⑥ P198の「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 今まで、家族のことを深く考えたことはあったか、また、家族を否定的に捉えていなかったかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 家族の幸せを求めて、進んで役に立ちたいと考えている。	共生 福祉に関する教育 図書館活用
	3月	【支えてくれた人々に】 B (8) 感謝 3 4 「ありがとう」の気持ちを伝える	「感謝の気持ちを伝えているか」に関する調査データや、二つの「感謝」に関する作文を通して、自分の中にある感謝の気持ちについて見つめさせ、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分の中にある感謝の気持ちを見つめよう。 ① 今日、誰に、どんなことで「ありがとう」と言ったかを出し合う。 ② 「いつもありがとう」を書いた「ぼく」は、どんな気持ちで、お母さんに「ありがとう」と言ったのかを考える。 ③ 「私を変えた震災体験」を書いた「私」の、「毎日の生活への感謝」とは、どんなものか考える。 ④ 卒業を前に、自分は誰にどんな感謝の気持ちを伝えたいかを見つめ、その思いを手紙に書く。 ⑤ 「つなげよう」を読んで、自分を支えてくれている人たちにどう応えていきたいか考える。 ⑥ P198「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 卒業を前に、感謝の気持ちを伝えたい人を振り返り、どんな気持ちを伝えたいか考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 これから生きていくうえで、自分を支えてくれている人たちの気持ちにどう応えていきたいか考えている。	特別活動(学級活動)
	3月	【よりよく生きるために】 D (22) よりよく生きる喜び 3 5 一さいから百さいの夢	それぞれの年齢の人の、それぞれの「夢」を通し、夢が私たちに与えてくれるものを見つめさせ、夢や希望をもってよりよく生きていこうとする心情を育てる。	★夢が私たちにあたえてくれるものは、何だろう。 ① 今、どんな夢をもっているか、出し合う。 ② 「一さいから百さいの夢」を読み、いちばん心に残ったことと、その理由を発表する。 ③ 夢が私たちに与えてくれるものは何かを話し合い、197ページに自分の夢を書き留めておく。 ④ P198「学びの記録」に記入する。	【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の発表を聞き、それぞれの思いを知り、夢のもつ広がりや理解し、さらに自分のものの見方や友達に対する考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 自分の夢は何か、夢のためにどんなことをしていきたいか、もしくは、たとえ今ははっきりしなくても、どんな夢をもちたいか考えている。	キャリア教育 特別活動(学級活動)
<p>○「学習のまとめ」・学期を振り返った評価(1~3月)</p> <p>ここまで学んだ、【A (1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任】【C (13) 公正, 公平, 社会正義】【C (18) 国際理解, 国際親善】【D (19) 生命の尊さ】【B (7) 親切, 思いやり】【C (15) 家族愛, 家庭生活の充実】【B (8) 感謝】【D (22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>						